

第五には恩物を遊ぶ所の所謂手技なる遊戯は幼児の行ひ居る全遊戯中の一部分に過ぎぬから其價値も亦幼児保育の全部に對しては部分的だと思ふのである。然るに從來の幼稚園では何うも是を重く見過ぎて居る様に見える。従つて幼児教育の過半は此手技に依つて行はるゝものと思つて居る人もある様であるがあんまり買ひ被つて居りはしないかと思ふ。

素人の岡目其道の人から見たら馬鹿らしくもあらうが兎に角當局の一顧を煩はしたいものだ讀者諸君若し我輩の所感に就いて御意見があらば何卒本誌上に於て示教せられんことを敢えて希望す。

▲星と交通 日下英國ランカシャー洲にて紡績所より製する糸の長さは一日に一億五千五百哩なるが、此の速力にて月に達する糸を作るには僅かに二十分餘にて充分なり、又六日間の製糸にて地球を一週する事を得べく、十八日間の糸の長さにて太陽より海王星に達すべく、一年を三百十日動くものとして最近き恆星に達する糸を紡ぐには大抵五百年間を要すべしといふ

雜 錄

●お伽噺の會 毎月一回つゝ數多の少年少女を樂しましめ居れるお伽俱樂部は昨十五日神田青年會館にお伽噺會を開けり定刻に至るや久留島主幹の開會の辭に次で東洋幼稚園長岸邊福雄氏は「犬少尉」と題し趣味深き談話をなし、數百の願を解き次で淺草小學校長伊東房太郎氏の旅順觀光談及び狂言「千鳥」あり最後に巖谷小波氏は「魔王のアハ」と云ふ題下に例によりて老熟の辯を揮ひ堂に溢るゝ許なる小國民を酔はしめたるが此お伽噺は來月川上貞奴に演ぜらる可きお伽芝居の筋書なりと云ふ。斯くて話の間々には三光堂の畜音器ありて興を助け歡聲洋々の中に散會せるは午后四時半なりと云ふ。

●少年の天幕生活 嘗て國民新聞の蘇峰子頻りに邦人に勧むるに夏の天幕生活を以てせることありき。當時世人は之に一顧の注意をも拂はざりしが記者は之れ頗る遺憾の事なりと思ひぬ。爾來數年

の今日端なくも之を富祐なる家の子弟によりて實  
 現せられんとは實に思ひ掛けぬ事なりかし。  
 小石川安藤坂上なる三井三郎助氏の令息高修（高修十）  
 高修（十）と云ふ少年は今年の夏季休暇中を利用して  
 して雲深く氣清き碓氷の山中に約三週間の天幕生  
 活を營み首尾よく効を奏して先頃歸京したりと云  
 ふ今企畫と實況とに就きて聞きたる儘を記さんに  
 兄の高修氏は現に麴町區段曉星中學の生徒、弟高  
 達氏は東京高等師範附屬中學の生徒にて同邸の書  
 生松本新三郎氏（十）と共に去月八日目的地なる信  
 州輕井澤に着し町の在る處より溪流に沿うて上る  
 こと十二丁ばかり碓氷峠と愛宕山との溪間に地を  
 相し天幕の建設にと取りかゝりしが何にを云ふに  
 も荆棘道を鎖して開拓に骨の折れる深山の奥に驟  
 雨は絶えず至りて雷鳴轟々と物凄まじく、大きな  
 る山蛇さへ現はれ出で、人を惱ますに心細き事は  
 云ふばかりなけれど三人互に勵まし合ひ遂に二間  
 と二間半の天幕を張り其外には方一間半の四阿を  
 建て裡には二個の薦卓と四個の旅行携帶用ベツト  
 を備へ七輪、土鍋、小皿、茶碗、醬油、味噌、罐

詰、鹽等食用に關する一切の世帶道具と原料を整  
 へ時に不足を告ぐる品あれば町まで出で、調達し  
 高修氏が頻りに七輪に火を煽りて飯を炊けば兄の  
 高修氏が副食物の調理をなし、憇くて三度の食事が  
 出來上ると云ふ極めて趣味多き生活を續け暇ある  
 時は植物や昆蟲の採收に附近の山中を跋涉し夜は  
 大抵八時に床に就き朝は四時頃に起き出で、清澄  
 なる溪川の水に身を淨むる神氣の爽かさは到底都  
 に在る人士の想ひ及ばざる程にて何れも頗る健全  
 に勇氣満々として歸京し來年の夏休みには今年に  
 優る大規模の天幕生活を營まんと思氣込み居れり  
 とは富豪の子弟が壯圖洵に喜ぶべきなり。

●東京保姆養成所 同所にては來る十月中旬第  
 三回卒業式を舉行する由にて今回の卒業者は略五  
 十名なる由、從來本會へ直接保姆の周旋方法御  
 依頼の向にて未だ適當の人を得ざる方は該所卒業  
 生の中より選拔せられては如何因に記す、同所第  
 四回の開講は來年一月よりなりとぞ。

●素人療治の椿事 小兒に盛る可き藥液の分量は  
 非常に注意を要する由にて普通の開業の醫師は我

子への薬をかつかなピツクリで調劑すると聞きつるに是は亦途法もなき生兵法とも云ふ可きか近日の新聞の報する所に依れば下谷上車坂町十番地笠井正人長女政枝(去る五月生)は兩三日前より風邪の氣味なりしに去十五日午後五時頃其の知友なる小石川久堅町八百五番地倉田方醫科大學生田村重次郎(五)が遊びに來りて政枝を診察しモルヒネ少量を與へて歸りしに政枝は應て苦悶を始め翌午前三時頃遂に死亡したり斯くとも知らぬ重次郎は政枝の容體如何にと案じて翌日午後同家を訪ひしに思ひも寄らざる右の始末に重次郎は仰天して直ちに自宅へ立歸り其の申譯と我もモルヒネを服用して敢なく自殺を遂げたりとぞ其の無分別は云ふ迄もなけれど此れに付ても修業中の素人療治は慎むべきことなりかし。

●長崎幼児保育所 同所は戦時軍人遺族の幼児を收容せるものなりしよしなるが事件後も引續き經營せる者にて軍人援護會は特に一千圓を交付して事業を助け居る由其保育の方法は毎朝六時より幼児を收容するや質素清潔なる上衣(裏に各自の名

を記せし者)を着用せしめ長さ廻廓と廣き外庭とにて種々の遊戯をなさしめ間々短時間つゝ室内にて講話唱歌積木紙細工等を課し毎日一回入浴せしめ食物は晝食を與ふるの外午前十時午後四時各一回間食として粗葉を與へ毎月十五日は市内理髮所の休日なるにより其特志者來りて幼児の理髮をなす而してかく多數の幼児を一ヶ所に收容せるにより各自の家庭にて生育せしむるに比し心身の發育或は低劣ならんことを恐れて深く注意を加へ尙幼稚園長 高等女學校長 市衛生課長等の指導を受けつゝありと云ふ吾人は此種の事業益盛ならんことを望む。

●幼児の片親 世に悲惨なるもの尠ならず、然も幼児にして片親を失へる程いぢらしくも又憐れなるは尠し、殊に其母親を失へるものに至りては其悲惨の程度計り知る可からず。切に同情の涙に咽ばざるを得ず。之を吾人の經驗に徴するに假令父親なくとも母親の堅固なるものあらば小兒の教育は割合によく行き届きて學校教育を受くる頃となりても別段に著るしき欠點として表されれど之に

反して母親を失へる幼児にありては其保育の面倒は多くは其舉止粗放なる父親にあるか若しくは愛なき他人の手に委せざるを得ず。従つて其結果は學校時代に表はれ來りて其心情は意外に拗れるを常とす。之を見てはも幼児と母親との關係の偉大なるを知る可さか。本年の暑中休暇とか女子高等師範學校の保育實習科生徒某が九州に歸省せんとて順路門司に渡れるに端なくも涼車中にて三人の男子が代るゝ母親を失へる生れし許りの幼児を抱けるに出遇ひしが其苦辛せる様如何にも氣の毒にて見るに忍びず暫く赤子の守りをして遣りしに男心にも非常に感ぜしものと見え別れし後其名前を聞かんとて態々書を該校の生徒監に充て尋ね來りしと云ふ。

●精神疲勞調査法 兒童の精神疲勞の問題は教育上大切なるものなり殊に我幼兒教育上には實際應用す可き場合極めて多し。文部省は先年之が調査を報告せることありしが今回又新に之が調査を行ふ由今文部省が着手せんとする方法に關し當局者の談話なりと云ふを聞くに今回の調査は同省の駿

河醫師専ら之を擔任し各校醫の補助を得て來週中愈調査に取掛る豫定なるが其目的は専ら各學課の學生の腦及身体に於ける疲勞又は休養の關係を調査するにありて差向き左の四法にあり二三直轄學校に試むべしと云ふ。

(第一)クルケルスタイン氏法 或學課を學ばんとする前計算法、記憶法、書取又は結合法へ之れは短文章を結合して誤りを正す等四種の中一を撰びて或る時間之れをなさしめ學課を終りたる後更に其同一法を行ひ學課前後の成績を比較して其學課の學生に及ばす腦の疲勞を知ること

(第二)モツツ氏法 手及腕を固着し中指のみを自由になし之に錘ある糸を附して自由に運轉せしめ其運轉を烟燻したる太鼓胴に刻み其指力筋の疲勞を調査する法にて生徒の學課を學ばんとする前後に之を行ひ其太鼓面の波紋を比較して其の疲勞を調査するなり。

(第三)知覺測定法 是はグリフ、パツハ氏の法にて皮膚の一點に「コンパス」の如き尖端ある刺戟物を觸れ其二點感と一點感との辨別する差違に

て疲勞を知る法なり例へば或學課を學びたる前後に之を試み比較すること前の如し。

(第四)反應刺戟試驗法 刺戟的反應に依る法なり

即ち甲の人、乙學生を驗せんとせば一二尺の間隔にて同形なる二物を置き甲第一に之れを打ち乙をして之に倣ひて手早く打たしむるにあり然るに腦に疲勞を覺ゆる時は平時より其反應作用鈍く自然手早く打つ能ざるに至る此法も學課の前後に試みて其疲勞を知るなりと云ふ。

●赤痢病猖獗 秋期に入りて俄に冷氣を感ずる時は傳染病など得て勢力を逞ふする例多きため各地方長官は傳染病豫防法に基き夫々訓令を發布し豫防を督勵實施し居れるが昨今に至り各地方共意外に多數の新患者續發し益々病毒蔓延の傾向を呈せり、昨日内務省衛生局の調査する處に依れば患者發生地方別及本年初發以來の累計約三千人に昇る由父兄は此際一層注意して兒童の胃腸を損はざる様心掛くるを要す。

●躰操に就て 白仁普通學務局長談に曰女子の躰操のまに就て、白仁が瑞典式とか表情躰操などを止

め薙刀や鎗鎌でもやらせるがよいと云ふたとて新聞や雜誌に出て居るをうだ、あれは此間或人が來た折の談話の中にあつたのであらう……思ふに凡べて男子でも女子でも自衛防禦即ち敵を防ぐを心得て置く必要がある、斯う云ふと其爲に警察もあつて置かないかと云ふであらう、併し夫は議論で實際上此必要がある、廣い世の中だもの馬鹿もあらう、狂人も居やう、時には争鬭も起るであらう斯様な咄嗟な間に事が起つた場合に、夫に處する準備がなからねば、圖らざる危害を受ぬとも限らぬ、昨秋或地方の一女教師が暴漢に出逢ひ、自分が携へて居つたナイフで四十幾箇所に傷を負はせられたと云ふのである、これは唯だ一例で、大小となく斯様な事實は幾つもあるではないか、夫れで男子も女子も夫れ相應に自衛防禦の術の心得が必要だと云ふのである……夫は一人の敵だ萬人の敵でないといふ項羽から笑はれるかも知れないが……畢竟之を小にしては迫害を防ぐ爲め、大にしては戦争でもあつた場合に此心得があるとないとて大層違ふからである、女子も男子と同じく敵はあ

殊に悪書生など横行する折柄、此心得がなからねばならぬと云ふとは明かであらう、多き婦人女子の中には車に乗り或は伴を連れて歩き、其男をして防禦せしむるのあらうが夫はほんの一部に過ぎぬ、假んばそれにして、樁事は多く咄嗟の間に起るものであるから矢張此自衛防禦の心得を要するのである。

要するに余の意見は所謂瑞典式とか表情躰操などいふものは止めてしまへと云ふのでない、それと共に此自衛防禦的方法を教へたらと云ふのである……一躰々操は云ふ迄もなく精神を練り身躰を鍛へるに在るのであるから、唯だ外見を立派にし觀覽者を歡ばしむるが如き傾向が若しあるならばそは遺憾と云はねばならぬ云々

●疲勞調査に就て 別項の精神疲勞調査法に就て文部省囑托醫駿河氏は語りて曰く

『余は上局の命に依り學生の精神疲勞を調査する方法を取調中なるが其の結果の如何に應用せらるゝかは今茲に豫言し能ざる處也されど學生の精神疲勞調査は學科程度が能く學生の心身に適當し居

るや否や將た又授業時間と休憩時間とは能く心理的生理的の配合を得たるや否やを測定する爲めの必要より起りたるものなり其の調査法として四個項目を掲げたるが第一項の計算法、記憶法、書取法、綴合法等はブルケルスタイン、ユービングハウスト氏等の實驗されたる處にして其の中の結合法とは故らに脱字誤字を綴り込みたる文章を與へて其の填字正誤の程度に依りて精神の狀態を測ることたり第三項に 그리스 パツハ氏の刺戟物云々はコンバスの如く兩端ある先きの尖りたる器械を皮膚に當て、其の知覺の強弱遲速に依り同上の測定を爲すをにして第四項は刺戟に依りて反應せる時間の長短を測定することなり」と説明し更に『何種の運動にては精神の疲勞を癒し得るが如く思惟するは大なる誤解なり讀書研學に精神を疲らしたる後ち直ちに強度の運動を試るは不知不識の間だ恐る可き危害を惹き起す原因と作る可し此の點よりする時は各學校の躰操は軽度の學科と輕度の學科との授業の間に於て施すを適當とせん尤も唱歌の如きは難學科の後に課して可なるべし青

年學生の休養に缺くべからざるは安静なる呼吸運動と温浴との二つなり學科と學科との間の休憩時に他の運動遊戯を避けて適良なる安静呼吸を行ひ夜間就寢前に於いて温浴を執り斯くて怠るなれば青年の精神休養に補ふ處多大なる可し云々と語れり記して教育家の參考に供す。

●折檻と教育 賞と罰とは兒童教育上必要手段たるを失はず。然れども其れには自ら程度の存するものなるに角を矯めて牛を殺す淺慕なる無知の愚婦甚だ尠からぬは慨はしきこと、云ふ可し。千葉

縣印幡郡志津村字萬崎友野倉吉養母よう(九十)は平生其末子宇之助(十)の腕白なるを心配しむる處昨朝宇之助が例の腕白をなしたるより突然奥座敷に連れ行きて其手足を細紐にて縛したる上尙ほ泣

聲の戸外に洩れざるやう自分の種やら此他種々の襤褸類を口一ぱいに填め込み大に折檻の結果宇之助は不幸にして其儘絶息したる騒ぎに訴へに依り時を移さず同地所轄裁判所の荒木判事書記醫員を

隨へて臨檢し同時に加害者ようは引致せられ目下取調中なりと。

●下婢學校の成績 新潟市婦人教育會にては下婢子守女等の品行陋劣なるを矯正する爲め去る三十七年中戦時紀念事業の一ツとして同地女子高等小

學校内に下婢學校を設立し毎週金曜日夜間二時間宛修身、讀書、算術、家事、育兒等の各科を授け教員の報酬其他一切は有志の寄附により經營し來りしに其成績頗る顯著にして入學希望者漸次増加

し目下在學者百八十人の多數に達し同地の下級労働者等の風紀も次第に善良に赴きたりと云ふ吾人は此種學校の地方に益々盛ならんことを希望するものなり。

●二葉幼稚園の新築落成式 野口幽香齋藤峯兩女史が労働者の爲めに設けたる二葉幼稚園は兼て四谷區元鮫ヶ橋町六十六番地に新築中の處工事も落成したるを以て昨日其落成式を行ひ幼兒の遊戯を來會者に觀覽せしめたる筈